



知

おがたいくこ
緒方郁子
先生



指定を受けた当初は不安もありましたが、アドバイザーの協力もあり、できることから始めていきました。普段は、教材の使い方などについて他の学年の先生の知恵を借りることはあまりありませんが、NIEの場合は、新聞を使うので、お互いに使い方をアドバイスし合ったり、教材となる記事を探してもらったりできます。今後も、子どもたちを楽しんでもらい、自分たちも楽しみながらNIEの取り組みを続けていきたいと思っています。

NIE
く教育に新聞をく

大津東小学校



大津東小学校は、昨年度から県の実践指定校として「NIE～教育に新聞を」に取り組んでいる。児童は全員「NIEノート」を持っており、自分の選んだ新聞記事を切り抜いて保存する。好きな記事を集めたり、テーマを決めて記事を集めたり、教科の学習に必要な記事を集めるなど、使い方はさまざま。また、1枚の紙に自分の選んだ記事を貼り付け、感想などをまとめたものを各学年が作成している。

他にも、国語や社会、総合的な学習の時間などで新聞を教材にして授業を行っている。教科書ではほんの一部しか取り上げられていないことでも、新聞を教材に使うことで、体験者の話や今も残っている遺跡などについて取り上げることができる。新聞記事がきっかけで宇宙に興味を持ち、宇宙について自ら積極的に学んでいる児童もいる。このように、NIEによって学習だけでなく子どもたちの夢に対する思いも広がることもある。

徳

やまもとゆうじ
山本雄二
先生



今後も取り組みを続けていくためにも、自分たちがやっていることは地域学習なのだとすることを子どもたちに意識させたいです。子どもたちは、今の環境が自然にできた、当たり前のだと認識していますが、実際は地域の人の思いがあってこそ存在しているものです。それを知ること、自分の住む地域の素晴らしさに気づき、自尊感情を育てることができると思います。環境を守るために自分たちに何ができるかをこれからも考えてほしいです。

環境学習

大津南小学校



大津南小学校は、平成11年の研究発表をきっかけに12年間環境学習に取り組んでいる。今年6月には、長年の活動が認められ、「第20回くまもと環境賞」を受賞した。環境を守ろうという意識を高めること、自分たちの古里の大切さを実感させることが、大津南小学校の環境教育の大きな柱である。大津南小学校では、学校の近くを流れる白川を題材として「総合白川」というプログラムを作り、総合的な学習の時間を使って各学年で取り組みを行っている。また、これらの学習の成果をさらに発展させ、環境保護のための実践活動にも積極的に取り組んでいる。

白川が生み出す水と自然を学ぶ環境教育を継続することは学校だけではできない。先人の知恵と苦労、歴史を語ってくれる人材や環境ボランティア団体の支援が整っていることも、大津南小学校が取り組みを継続できる理由の一つだ。

基礎学力向上システム

大津小学校

大津小学校では、平成22年度から低学年の学力向上を目的に、PTA・地域住民・大学生などが学習支援ボランティアとして朝自習などの時間に学習サポートを行うという取り組みを始めた。これは、県の基礎学力向上システム推進事業に関するモデル校の指定を受けて実施しているもので、現在は50人弱がボランティアの登録をしている。学習支援ボランティアは、主に低学年のクラスに入って朝自習の指導やプリントの丸付けなどを行う。

特徴は、ボランティアが入るクラスを固定していること。そのため、ボランティアが一人一人の子どもの特徴を知ることができ、的確な支援ができるというメリットが生まれる。また、たくさん子どもたちと接することで町の全ての子どもたちに対する愛情が湧いてくる。地域とのつながりが薄れていく中で、この取り組みはそういったつながりを強める一つの要素になっている。



知

あかほしせいじ
赤星誠司
先生



以前は、地域の人が授業のサポートをするように対して、どうしても職員には不安がありました。しかし、取り組みを続けていくうちに、「とても助かる」という声を聞くようになりました。子どもたちのために一生懸命に取り組むボランティアの姿は、職員の意識も変えてくれたのです。県の指定が終了した後も、この取り組みを続けたいと思います。分離新設校ができて、地域とのつながりを大切にしたいと思います。

くどうてるひこ
工藤照彦
先生



校長先生や教頭先生が私たちに信頼して任せてくれるので、研究に取り組みやすいです。子どもたちを社会人、日本人として一人前の大人に育てるという目標を先生たちは共有しており、全員が同じ方向を向いているのでとてもやりがいがあります。普通に授業を行うよりも時間はかかりますが、かかった分の価値はあると思っています。「研究発表会」は誰でも参加することができます。ぜひ私たちの取り組みと子どもたちの真剣な表情を見に来てください。

学力充実研究推進指定校

大津北中学校

大津北中学校では、県教育委員会から学力充実研究推進指定校の指定を受け、平成22年度から「生きる力」を育む学校教育について研究を進めている。中学校では、一人一人の学びを大切にしたい授業で学力向上につなげることが重要になる。本年度は「一人一人の学びを大切にする授業の創造」をテーマに取り組んでいる。

中学校は、学習内容が多いことや受験があることから、ある程度のスピードで授業を行うことが要求されるが、授業中に全ての子どもが「わかる」「できる」ように、学習内容の視覚化・共有化を行うなどの工夫をしている。また、全職員が研究授業を1回以上行い、より良い授業作りのために互いにアドバイスをし合っている。あわせて、生徒たちに分かりやすかった点を聞いたり相談するなどして、より効果的な方法を模索している。11月25日(金)には、町民なら誰でも参加することができる「研究発表会」を開催する。

